

## 第 4 号議案

## 令和 3 年度個別作業実施報告

## 1 事業の概要

## (1) 目的

「霧ヶ峰自然保全再生実施計画」及び「個別作業計画」に基づき、霧ヶ峰の生物多様性の保全・再生を推進するため、生態系を改変するおそれのあるオオハンゴンソウ等の外来種の駆除と、多様な植物の生育を促すためにニッコウザサ等の優占群落の刈取を行うとともに、モニタリング調査を実施してその効果を検証する。

## (2) 実施期間

令和 3 年 5 月から令和 3 年 9 月

## (3) 活動状況

種別	実施地区	作業内容	作業日	参加人数	作業実績	備考
外来種駆除	池のくるみ	ハルザキヤマガラシ駆除	5月29日(土)	22人	110kg	
	車山高原	ヘラバヒメジョオン・フランスギク駆除	6月23日(水)	42人	100kg	
	強清水湿地	オオハンゴンソウ駆除 (2回実施)	7月8日(木) 8月4日(水)	31人 37人	450kg 700kg	
	インターチェンジ草地	ヘラバヒメジョオン駆除	7月15日(木)	28人	130kg	追加
小計	4地区		5回	160人	1,490kg	
草原再生	インターチェンジ草地	ススキ群落刈取・搬出 ススキ積込	8月25日(水) 8月30日(月)	22人 4人	約0.7ha	刈取量 1,140kg
	車山肩東	ニッコウザサ群落刈取	9月4日(土)	13人	約1.0ha	
		ニッコウザサ群落搬出	中止 (新型コロナ感染拡大のため)			
小計	2地区		2回	39人	約1.7ha	
合計	6地区		7回	199人	1,490kg 約1.7ha	

新型コロナウイルス感染症の状況を勘案し、昨年度に引き続き今年度も一般のボランティアの募集を見送り、延べ 199 人の参加により作業を実施した。これまでのススキ刈取搬出作業により、ススキの勢力が弱まったことで侵入定着が見られたヘラバヒメジョオンの駆除作業を追加し実施した。結果は、約 1.5t の外来種の駆除と約 1.7ha の優占種の刈取を行うことができた。また、植生モニタリング調査を信州大学農学部大窪教授に依頼し、作業の効果を検証した。

車山肩においては、今年も多くのニッコウキスゲの開花が見られた。また、インターチェンジ草地においても、所々でニッコウキスゲの開花が確認できた。



5月29日池のくるみ ハルザキヤマガラシ駆除作業



5月29日池のくるみ ハルザキヤマガラシ駆除作業



6月23日車山高原 ヘラバヒメジョオン駆除作業



6月23日車山高原 フランスギク駆除作業



7月8日強清水湿地 オオハンゴンソウ駆除作業



8月4日強清水湿地 オオハンゴンソウ駆除作業



7月15日IC草地 ヘラバヒメジョオン駆除作業



赤矢印：ニッコウキスゲ

7月15日IC草地 ヘラバヒメジョオン駆除作業



8月25日 IC 草地 優占種ススキ刈取作業



8月25日 IC 草地 優占種ススキ刈取作業 (搬出)



8月30日 IC 草地 ススキ積込・堆肥化施設へ運搬



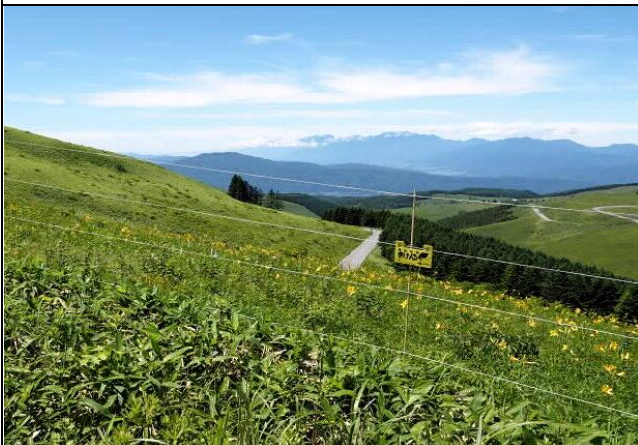
9月4日 車山肩東 優占種ニッコウザサ刈取作業



9月4日 車山肩東 (刈取後)



R3 年度 開花状況 (車山肩東側)



R3 年度 開花状況 (車山肩東側)



R3 年度 開花状況 (車山肩東側)

## 第 4 号議案

## 令和 3 年度電気柵等の設置状況

## 1 概 要

ニッコウキスゲ等の貴重な高山植物をニホンジカの食害から守るため、協議会構成団体において八島ヶ原湿原やニッコウキスゲの群生地には防鹿電気柵等を設置した。

設置場所	設置時期	概 要	設置主体
① インターチェンジ前園地	令和 3 年 5 月上旬	電気柵 約 2.0km	下桑原牧野農業協同組合
<del>忘れじの丘</del>	<del>令和 3 年 5 月上旬</del>	<del>電気柵 約 0.6km</del>	<del>下桑原牧野農業協同組合</del>
② 車山地区	令和 3 年 5 月 11 日	電気柵 約 4.6km	車山高原観光協会
③ 車山肩地区	令和 3 年 5 月 8 日 令和 3 年 5 月 11 日 (10 月中旬撤去)	電気柵 約 2.5km 〔うち 0.4km は 丈の低い二重柵〕	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (霧ヶ峰湖東牧野農業協同組合) (霧ヶ峰高原牧野農業協同組合)
④ 富士見台西側	令和 3 年 5 月中旬 (10 月下旬撤去)	電気柵 約 0.8km	霧ヶ峰自然環境保全協議会 (下桑原牧野農業協同組合)
⑤ 八島ヶ原湿原	常 設	鋼鉄柵 約 4.0km	霧ヶ峰自然環境保全協議会
計		電気柵 約 9.9km 鋼鉄柵 約 4.0km 計 約 13.9km	

## 2 令和 3 年度の状況

電気柵設置場所において、ニッコウキスゲ等の開花が見られ、ニホンジカの食害等を防止する効果が確認された。特に「③車山肩地区」東側では、電気柵の設置に加えて優占種であるニッコウザサの刈取を継続して実施したことにより、より多くのニッコウキスゲの開花が見られた。車山肩地区の一部では、丈の低い二重の電気柵を設置し、観光客の写真撮影等に配慮している。また、令和 2 年度から延長した「③車山肩地区」西側では、柵内の全面草刈りを併せて実施しており、わずかではあるがニッコウキスゲやヤナギランの開花が見られた。下桑原牧野農業協同組合が設置していた「忘れじの丘」の電気柵については、十分な効果が得られないため、今年度より設置しない方針とした。

八島ヶ原湿原に設置している常設の鋼鉄柵は、霧ヶ峰自然保護センター及びパークボランティアの方々が月 1 回点検を行い、その機能の維持に努めている。



車山肩東側 作業風景



車山肩西側 (R2 拡張箇所) 刈取作業



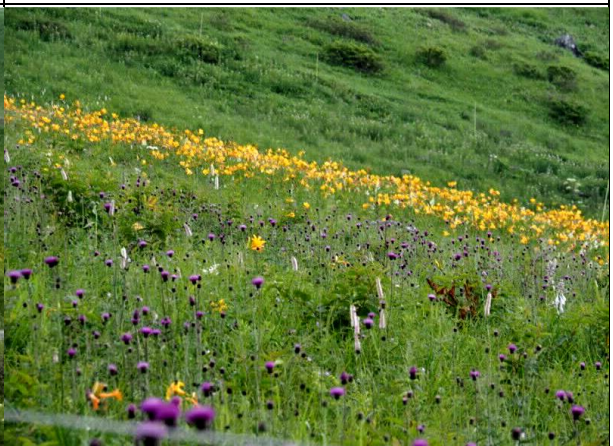
車山肩西側 (従前箇所) 設置作業



車山肩西側 (二重柵)



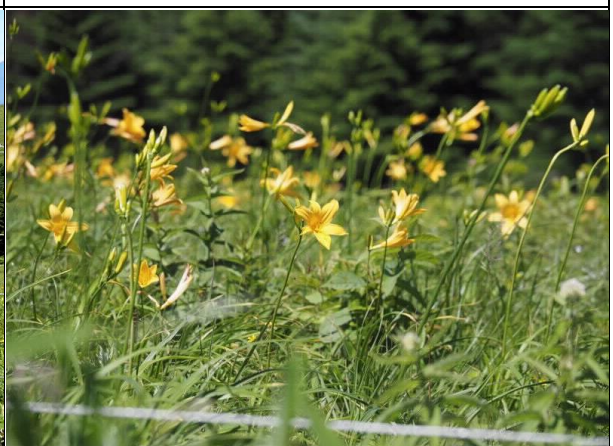
電気柵内 開花状況 (③車山肩東)



電気柵内 開花状況 (③車山肩東)



電気柵内 開花状況 (③車山肩東)



電気柵内 開花状況 (③車山肩東)



電気柵内 開花状況 (④富士見台)



電気柵内 開花状況 (④富士見台)